

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 総務-21 検査事務				タイムスコード及び個別事業名	
					513	検査事務
主管課	契約検査課	関連課	景観部	都市整備部	拠点整備部	
分野名	行財政運営					
目標 (目標値)	鎌倉市で発注する工事及び工事に付随する委託業務の品質の向上を図ります。経済的かつ高品質な工事目的物等を提供するため調整業務を行います。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	136千円	84千円	指標と評価 指標 評価 ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退 目標値 実績値		
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	136千円	84千円			
	人員配置数	3.0人	3.0人			
	人件費	26,572千円	26,718千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	26,708千円	26,901千円	20年度		
	市民1人当りの経費	151円	152円	21年度		
	対象者1人当りの経費			22年度		
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名			23年度		
				最終年度 ( 年度)		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・公共工事コスト縮減新行動計画については、工事費縮減を図るべき具体的な対象となる工種や資材が分かりにくい。 ・電子納品には設計、発注、納品までの一連のものが体系化され、発注元・受注先共々のソフト整備と統一化が必要となっている。 ・総合評価落札方式の本格導入には、試行を重ね熟度を高めることが必要。 ・単品スライド条項は、資材価格の安定化に至り実施例はなかった。今後とも、価格の暴騰暴落に関する規定の準備は必要。				
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・公共工事コスト縮減新行動計画については、工事費縮減を図るべき資材等が一般的になってきている。 ・工事しゅん功図書の商品品のうち、工事写真について電子納品での対応を行っている。 ・総合評価落札方式の試行ガイドラインの策定と、試行を二例実施した。				
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・電子納品には設計、発注、納品までの体系化と整備が必要となっている。 ・総合評価落札方式の本格実施には、試行を重ね熟度を高める必要がある。				
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・電子納品については、可能なものから取組めるよう推進に努める。 ・総合評価落札方式の試行。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	平成21年度から、新たに工事に付随する委託業務に関して検査を実施している。経済情勢による新たな取組みについての課題もあり、これらを効率的に進めていく計画でいる。		評価結果	改善の必要性	・調整業務などがあるが、効率的に事業を進めていきたい。
B	有			B	有	
課長名		永田 隆一		部名・部長名		総務部・小村 亮一